愛知県埋蔵文化財センター　年報　1987.3

ISSN　0913-042X

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

年報

昭和
61年度

調査課内資料図書
No3

3

1987

序

愛知県埋蔵文化財センターは、昭和60年４月に設立され、間もなく２周年を迎えようとしています。本センターは、昭和56年４月に設置された、愛知県教育サービスセンターの埋蔵文化財調査部における事業を継承し、愛知県教育委員会を通じて受託した、主として、名古屋環状２号線の建設に伴う遺跡の事前発掘調査を実施してまいりました。

この調査の概要につきましては、昭和56年度から昭和59年度に至る間は、愛知県教育サービスセンターの「中間概報」及び「埋蔵文化財発掘調査年報Ⅰ～Ⅲ」として、また、埋蔵文化財センターが設立された昭和60年度は「年報」として刊行してまいりましたが、このたび、昭和61年度における発掘調査の成果を、本書により公表することとしました。

本書の刊行及び発掘調査にあたり、専門委員の諸先生及び愛知県教育委員会の御指導並びに建設省愛知国道工事事務所、日本道路公団名古屋建設局、日本鉄道建設公団名古屋支社、愛知県土木部、地元市町村その他の関係者の方々の多大な御協力をいただきましたことにたいし、厚く御礼申し上げます。

この年報が、考古学の研究はもとより、埋蔵文化財の保護と活用のうえでもお役に立つことができればまことに幸いと存じます。

昭和62年３月

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター
理事長　小　金　　潔

例　言

1．本書は、財団法人愛知県埋蔵文化財センターの昭和61年度事業の概要をまとめたものである。
2．調査は、建設省中部地方建設局、日本道路公団名古屋建設局、日本鉄道建設公団名古屋支社及び愛知県土木部から、愛知県教育委員会文化財課を通じての委託を受けて、本センターが実施した。
3．調査の概要は、各遺跡ごとにまとめて掲載した。
4．普及活動の概要は、本センターの事業のうち、研修会、埋蔵文化財展など埋蔵文化財の発掘調査以外の事業についてその概要を掲載した。
5．調査研究は、発掘調査及び整理作業を通じての研究成果の一部を集録した。
6．発掘調査にあたっては、専門委員の各氏及び愛知県教育委員会文化財課の指導助言をいただいた。
7．本書の作成にあたっては、赤塚美智代、石原智恵子、伊藤禎樹、岡本直久、加藤とよ江、亀井けい子、河合明美、鈴木規子、永金千佳、林素子、望月亜子各氏の協力を得たほか、愛知県陶磁資料館、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館をはじめとする関係各機関並びに、地元作業員の方々には過大の援助を賜わった。
8．文責は各文末に記した。

愛知県埋蔵文化財センターの組織

（役　員）

理事長

小金　　潔	（県教育長）

常務理事

中林　　茂	（兼事務局長）

理　事

井関弘太郎	名古屋大学教授
伊藤　秋男	南山大学教授
大参　義一	信州大学教授
坪井　清足	（財）大阪文化財センター理事長
楢崎　彰一	名古屋大学教授
三浦　小春	中日新聞嘱託
花木　蔦雄	都市教育長協議会会長（一宮市教育長）
伊藤　　芳	町村教育長協議会会長（蟹江町教育長）（６月30日辞任）
栗木　茂一	〃　（小坂井町教育長）（７月１日就任）（11月30日辞任）
大渓　紀雄	〃　（吉良町教育長）（12月１日就任）
大橋　雄六	県土木部長
中神　秀雄	県教育委員会社会教育部長
林　　正治	清洲貝殻山貝塚資料館長（清洲町長）
日下　英之	県陶磁資料館館長

監　事

石原　坂男	県出納事務局次長
田中　隆三	県教育委員会総務課長

専門委員

考古学	楢崎　彰一	名古屋大学教授
文献史学	早川　庄八	名古屋大学教授
地理学	井関弘太郎	名古屋大学教授
建築史学	浅野　　清	愛知工業大学教授
動・植物学	渡辺　　誠	名古屋大学助教授
形質人類学	池田　次郎	岡山理科大学教授
保存科学	江本　義理	東京国立文化財研究所保存科学部長
岩石学	諏訪　兼位	名古屋大学教授（７月１日就任）
木材組織学	木方　洋二	名古屋大学教授（７月１日就任）

（職　員）

事務局長（常務理事兼）　中林　　茂

調査課

課　長	橋本　雅司
課長補佐兼主査	竹内　尚武
主　事	浅井　和宏
嘱　託	菅沼　良則
主　査	梅本　博志
主　事	小澤　一弘
〃	水谷　朋和
〃	細野　正俊
嘱　託	中野　良法
主　査	山田　耕治
主　事	平田　睦美
〃	酒井　俊彦
〃	池本　正明
嘱　託	長島　　広
課長補佐兼主査	清水雷太郎
主　事	赤塚　次郎
嘱　託	松原　隆治
主　査	鷲野　　勉
主　事	土屋　利男
〃	石黒　立人
〃	佐藤　公保
嘱　託	丹羽　　博
主　査	梅村　清春
主　事	平野　　清
〃	宮腰　健司
嘱　託	松田　　訓

管理課

課　長	斉藤　樹三
主　査	青山　光一
主　事	森　　信孔
〃	田上　堅三
〃	小倉　晴美

目　　次

Ⅰ．遺跡調査の概要 …… 1

調査の工程…… 2
遺跡の位置…… 4
朝日遺跡…… 6
清洲城下町遺跡…… 36
廻間遺跡…… 50
土田遺跡…… 51
勝川遺跡…… 52
阿弥陀寺遺跡…… 54
大渕遺跡…… 57
杉山遺跡…… 58
試掘分布調査（岡島遺跡）…… 60
（春日井地区）…… 61
（試掘・分布踏査成果一覧表）…… 62

Ⅱ．調査研究…… 63

朝日遺跡60C区方形周溝墓ＳＺ01について……丹羽　博…… 64
方形周溝墓出土の一弥生時代人骨……池田次郎…… 67
朝日遺跡61B区貝層のブロック・サンプリング…渡辺　誠…… 87
朝日遺跡出土の外来系土器について－１－……石黒立人…… 95
大渕遺跡Ⅲ期に見る平安時代の土器……池本正明…… 105
清洲城下町遺跡出土の木製挽物漆器について……梅村清春…… 113
清洲城下町遺跡出土の墨書木製品について……梅本博志…… 127
清洲城下町遺跡出土の瓦について……小澤一弘…… 145
中世土師器研究ノート(2)……佐藤公保…… 155

Ⅲ．普及活動…… 165

埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会…… 166
発掘調査技術等研修会…… 167
現地説明会…… 168
資料の貸出・提供…… 169

Ⅳ．付篇（受贈図書目録）…… 170

遺跡調査の概要

調査の目的と工程

1．発掘調査

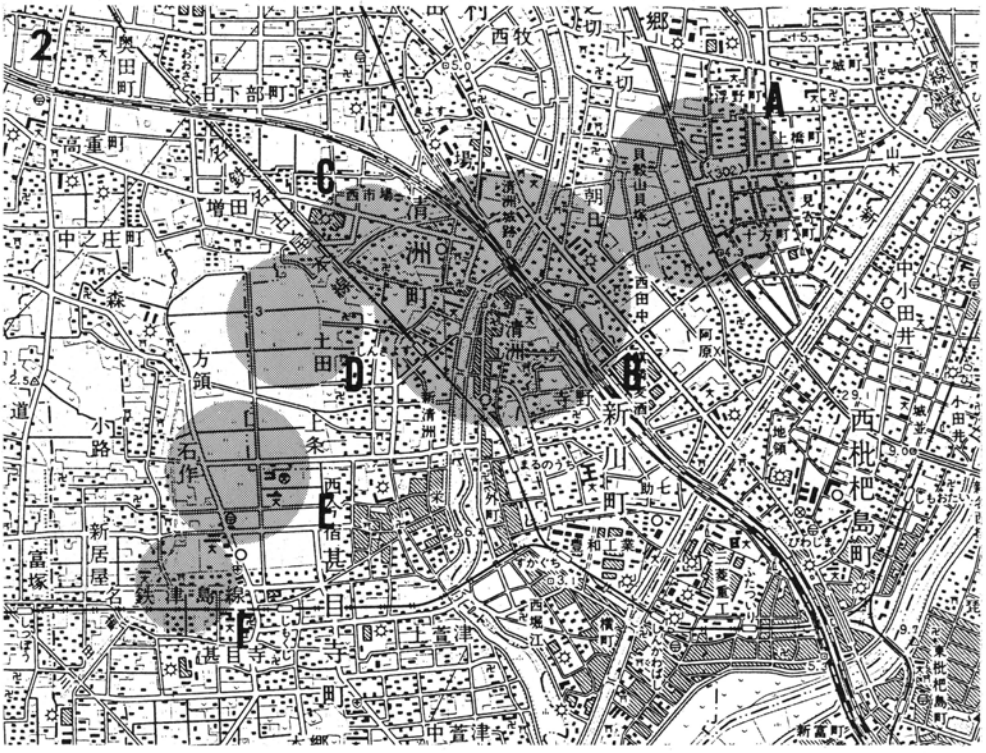
調査委託者	調査の目的	遺跡名	面積（m²）		調査の期間	調査担当者
建設省	名古屋環状2号線	朝日遺跡	A	1302	86. 8～86. 12	鷲野・土屋・石黒・佐藤・丹羽
日本道路公団	建設		B	1041	〃	〃
			C	1008	86. 4～86. 7	〃
			D	890	〃	〃
			E	1000	86. 9～87. 2	山田・平田・池本
			F	1000	〃	〃
			G	1079	86. 10～87. 2	〃
			H	1699	86. 11～87. 3	梅村・松田
			I	1748	86. 12～87. 3	水谷・中野
			J	1421	86. 11～87. 3	平野・宮腰
			K	1040	〃	鷲野・土屋・石黒・佐藤・丹羽
			L	1040	〃	〃
			M	1165	86. 6～86. 10	酒井・長島
			N	719	86. 4～86. 6	梅村・松田
			O	837	86. 7～86. 8	〃
			P	512	87. 1～87. 3	清水・平田・松原
			Q	626	〃	〃
			R	1008	86. 8～86. 11	梅村・平野・宮腰・松田
			S	856	〃	〃
			T	1164	86. 4～86. 9	平野・宮腰
		（22047m²）	U	892	86. 6～86. 8	〃
		清洲城下町遺跡		3935	86. 4～86. 7	梅本・小澤・水谷・細野・中野
		廻間遺跡		1545	86. 4～86. 5	酒井・長島
		土田遺跡		2319	86. 4～86. 6	山田・池本・平田
（31584m²）	（31584m²）	阿弥陀寺遺跡		1738	〃	浅井・菅沼

調査委託者	調査の目的	遺跡名	面積(m²)		調査の期間	調査担当者
日本鉄道建設公団	国鉄瀬戸線建設	勝川遺跡		280	86. 7～86. 9	清水・赤塚・松原
愛知県土木部	五条川河川改修	清洲城下町遺跡	A	836	86. 8～86.11	水谷・中野
			B	707	86. 7～86.11	梅本・小澤・細野
			C	865	87. 1～87. 3	〃
	(3310m²)	(3310m²)	D	902	86.11～86.12	〃
	福田川河川改修	阿弥陀寺遺跡	A	360	86.11～86.12	浅井・菅沼
		(1020m²)	B	660	87. 1～87. 2	〃
	(1420m²)	大渕遺跡		400	86.10～86.11	〃
	土地区画整理	勝川遺跡		1033	86. 7～86. 9	清水・赤塚・松原
(8063m²)	国道151号線バイパス	杉山遺跡		2300	86. 7～86.10	浅井・菅沼

2．試掘・分布踏査

調査委託者	調査の目的	遺跡(地区)名	内容	面積(m²)	調査の期間	調査担当者
建設省	名古屋環状2号線	町田・松河戸地区	試掘	500	86. 4～86. 6	清水・赤塚・松原
日本道路公団	建設	包里地区	〃	420	86. 5～86.12	竹内・浅井・菅沼
		猪子石原地区	〃	70	86.10	長島・菅沼
		池下地区	〃	70	86.11	赤塚
		牧野池地区	踏査	—	87. 2	赤塚・池本
(1060m²)	(1060m²)	守山地区	〃	—	87. 2	赤塚
建設省	国道23号線バイパス	岡島遺跡	試掘	250	86. 6～86. 7	山田・平田・池本
愛知県土木部	県道蒲郡・碧南線	岡島遺跡	〃	250	86. 7～86. 8	〃
	県道新川・清洲線	清洲城下町遺跡	〃	40	86. 7	赤塚
(980m²)	五条川河川改修	清洲城下町遺跡	〃	690	86. 7～87. 1	梅本・小澤・水谷・細野・中野

遺跡の位置



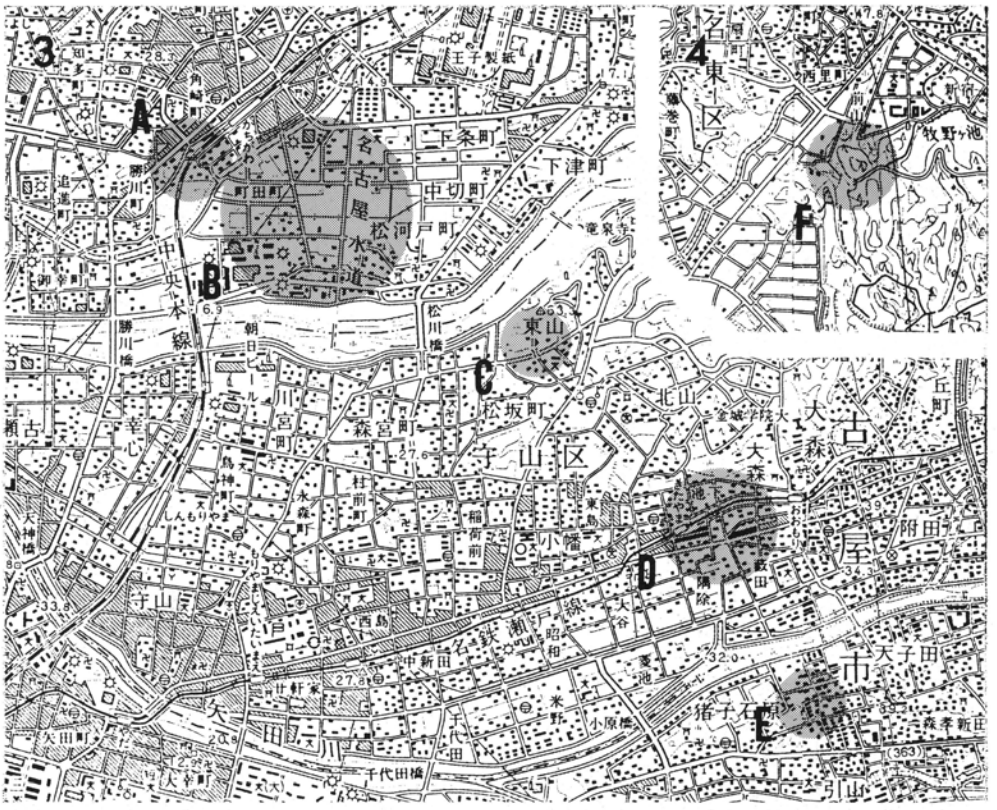
A・朝日遺跡　B・清洲城下町遺跡　C・廻間遺跡　D・土田遺跡
E・阿弥陀寺遺跡　F・大渕遺跡



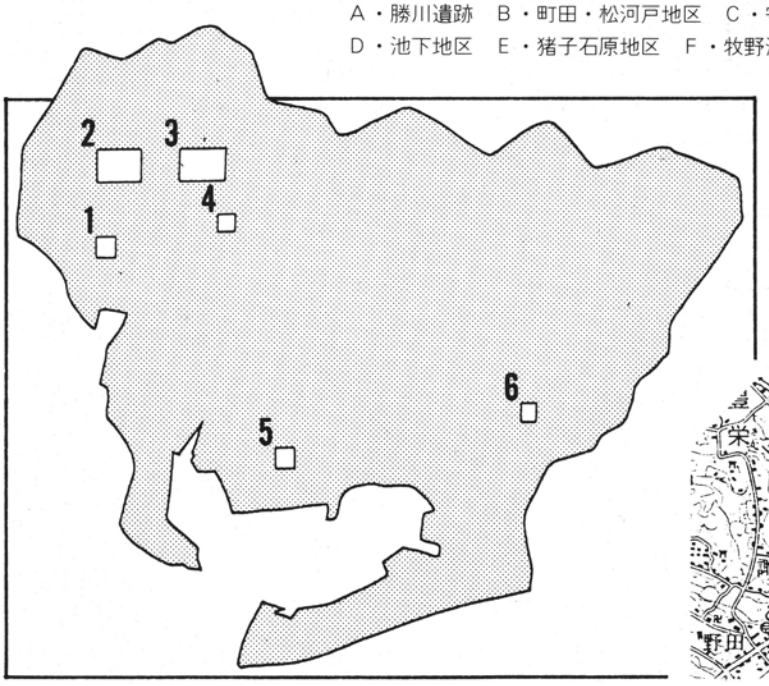
包里地区



岡島遺跡



A・勝川遺跡　B・町田・松河戸地区　C・守山地区
D・池下地区　E・猪子石原地区　F・牧野池地区





杉山遺跡